

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構
宇宙科学研究所 教授 公募
「募集要領」

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、下記のとおり教授(教育職)の公募を行いますので、広く適任者の推薦、応募を求めます。

1. 公募職種及び人数: 教授(教育職) 1名
2. 配属予定部署: 宇宙科学研究所 宇宙飛翔工学研究系

3. 職務内容及び求める人物像:

宇宙科学研究所(ISAS)は、太陽系探査の世界的な拠点の1つとして、小惑星ならびに重力天体の探査を推進しています。太陽系探査において一級の科学成果を得るためには、優れたミッションの立案と、ミッションを実現するための宇宙機システムに関する研究開発とが不可欠ですが、これらの中で中核的な位置を占めるのが宇宙機推進システムの研究開発です。我が国では、小惑星探査機「はやぶさ」搭載イオンエンジンにより、小型ながらも航行能力の高い探査システムを世界に先駆けて実現してきましたが、世界の衛星ならびに探査ミッションは急速に高度化・大型化しつつあります。こうした中、将来に渡って高い競争力を確保するための次世代推進機の研究開発が求められています。

今回募集する教育職には、高出力プラズマ推進を中心とした次世代宇宙機推進の研究開発における、強いリーダーシップを求めます。プラズマ推進は、イオンスラスタ・ホールスラスタ等の電気推進を含む、プラズマ加速を利用した先端的宇宙推進の総称ですが、「はやぶさ」以降、探査はもちろん地球周回衛星においても、プラズマ推進の持つ高いポテンシャルとその経済的優位性が広く認識され、その利用が盛んになっています。こうした中、各国における開発競争が厳しさを増しており、これまでは小型プラズマ推進に特化してきた日本においても、大型の宇宙機を駆動可能な、また探査ミッションの期間短縮が可能な高出力プラズマ推進の開発が急務となっています。ISASの探査領域を広め、特徴のあるミッションを創出し続けていくためには、基幹技術である高出力プラズマ推進の開発に貢献すると同時に、挑戦的で独創的な推進機研究を戦略的に実施することが重要です。

以上のことから、今回募集する教育職には、次の職務内容を求めます:

- ・さまざまな宇宙利用へと適用可能な高出力プラズマ推進システムの速やかな実現をめざし、ISASにおけるプラズマ推進の研究を強化・牽引すること。
- ・全JAXAにおける高出力プラズマ推進システムの開発や技術導入の機会を捉えて、積極的に学術的立場から指導・牽引すること。

・さらに将来の研究開発として、ISAS の探査領域を広げ、全太陽系への到達を可能とする宇宙機システムとそのための宇宙機推進技術の研究開発を、長期的な展望のもとで実施すること。

・ISAS が持つ大学共同利用の役割を理解し、上記の研究開発を大学等の工学ならびに理学研究者と協調して遂行すること。

・上記研究と連携した大学院学生の教育指導により、人材育成を実施すること。

以上の職務を遂行するため、今回募集する教育職は少なくとも以下の条件を満足するものとします：

・宇宙機システムのためのプラズマ推進分野に関する研究の経験を持ち、国内外で評価された実績を持つこと。

・近未来(5 年先)のプラズマ推進開発から、長期(10 年先)といった将来までにわたる利用から応用までを見据えたビジョンに基づき、着実かつステップを踏んだ研究開発を実施するための知見と能力を持つこと。

・総合工学である航空宇宙工学において革新的な研究を実施するために、先頭に立ってコミュニティを形成した実績を有すること。

・プラズマ推進ならびに関連工学分野における大学院学生の教育・指導を実施する能力を有すること。

4. 待遇

- (1) 給与：能力・経験を考慮の上、機構の規定により決定。
- (2) 休日・休暇：完全週休 2 日制、祝祭日、年末年始、年次有給、夏季、慶弔、産前産後、育児、介護、看護、ボランティア等
- (3) 始業、終業時刻、休憩時間：原則、始業午前 9 時 30 分、終業午後 5 時 45 分、うち、午後 0 時 15 分から午後 1 時まで休憩時間(ただし専門業務型裁量労働制を適用する)
- (4) 所定労働時間を超える労働の有無：有(ただし、専門業務型裁量労働制を適用し、1 日のみなし勤務時間を 7 時間 30 分とする)
- (5) 勤務地：相模原キャンパス
- (6) 任期・定年：任期なし。63 歳定年制。
- (7) 保有・借上宿舍の貸与：機構の規定により業務の必要性を鑑み独身用または世帯用を用意することができる。(ただし、同一の宿舍に継続して入居できる期間は 7 年を限度とする。)もしくは住居手当の支給が可能。
- (8) 社会保険：各種社会保険完備(健康保険、厚生年金保険等)

5. 応募資格：博士号を有すること

6. 着任時期：決定後できるだけ早い時期。ただし、機構の予算状況により、本人との調整を要する場合があります。

7. 提出書類：

- (1) 履歴書
- (2) 研究歴
- (3) これまでの研究概要
- (4) 論文リスト(インパクトファクターあるいは被引用数を記載のこと)
- (5) 今後の研究計画(プロジェクトへの貢献教育活動についての抱負を含む)
- (6) 外部研究資金獲得実績(外部資金の種別、金額、研究代表/分担を明記すること)
- (7) 他薦の場合は推薦書を提出することのできる方 2 名、自薦の場合は本人について意見を述べることのできる方 2 名の氏名と所属、連絡先(電話番号、電子メールアドレス)
- (8) 主要論文の別刷り 5 編程度(査読付き学術誌に掲載されたものに限る)

※以下は欧州経済領域(EU 圏)在住者のみ、提出してください。

- (9) EU 一般データ保護規則(GDPR)に基づく個人情報の取扱いに関する同意書(様式1)
8. 提出方法の Web サイトから電子的方法によりダウンロードしてください。

8. 提出方法

下記 Web サイトから電子的方法により提出してください。

<https://isas-appli-form.jaxa.jp/forms1/1533623822>

提出にあたっては、上記 web サイト上の指示に従って下さい。

upload していただくファイルは全て pdf 形式となります。特に、提出書類(2)から(6)は一つの pdf にまとめていただきます。

他薦の場合、推薦者にて直接、推薦書の web サイトへの upload をお願いすることになります。(入力いただいた推薦者のメールアドレスあてに依頼メールが自動送付されます)

なお、郵送又は持参での提出は、原則として受理できません。

9. 応募締め切り：

Web 入力及び(「他薦」の場合は推薦者による「推薦書」を含む)全ての必要書類提出について

2018 年 10 月 15 日(月) 9 時 30 分(日本時間) 必着

応募者は、お早めに上記 web サイトにアクセスの上、応募書類(「他薦」の場合の「推薦書」を含む)の提出方法を確認しておいてください。

応募締切直前に応募の場合、推薦者が「推薦書」を提出できる期間も短くなりますので、ご注

意ください。

10. 問い合わせ先:宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所
宇宙飛翔工学研究系主幹 佐藤 英一
電話: 050-3362-2469 E-mail: sato@isas.jaxa.jp

ただし、上記「8.提出方法」に関する問い合わせ先:
科学推進部人事担当
電話: 050-3362-2695 E-mail: ISAS-JINJI @ml.jaxa.jp

11. その他: 選考は宇宙科学研究所宇宙科学運営協議会にて行います。
また、選考に伴い 発生する交通費・宿泊費については自己負担になります。
宇宙科学研究所は、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

<個人情報の利用目的について> 宇宙航空研究開発機構の職員の公募に関連して提供された個人情報については、採用選考の目的に限って利用し、選考終了後は、選考を通過した方の情報を除き全ての個人情報を責任を持って破棄いたします。

※<EU 一般データ保護規則（GDPR）に基づく個人情報の取扱いに関する同意書>

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（以下「JAXA」と言う。）は、採用活動及び人事管理のため、個人情報をご提供頂く必要があります、また、上記業務の履行のため JAXA と契約関係にある第三者へ提供することに同意を頂く必要があります。

ご提供頂く当該個人情報の取り扱いに関し、JAXA は、プライバシー及び個人情報保護の重要性を認識し、情報管理者として個人情報保護に関する法令、特に、1978年1月6日の法律第78-17号(Data Protection Act)及び2018年5月25日より施行された2016年4月27日のEU一般データ保護規則第2016/679号（General Data Protection Regulatory-GDPR）を遵守します。